

2020 年度前期・学生教員懇談会〔Moodle 開催〕

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、Moodle によるアンケート形式で開催した。概要は以下の通りである。

回答期間：6 月 17 日～30 日

実施方法：Moodle の「文学部（全学年向け）」コースに「いま、千葉大学・文学部にこれと言いたい！意見大募集（第一回学生・教員懇談会）」として設定、5 項目〔①履修に関する事、②施設・設備に関する事、③学生生活に関する事、④新型コロナウイルス対応に関する事（メディア授業など）、⑤その他〕に対し、無記名で回答。

回答者数：209 人

◇主な意見、およびそれに対する回答

①履修に関する事（カリキュラム・シラバス・授業・成績など）

(1)教員の不足について

→現在、大学全体の方針として教員定年後 3 年間は（原則）人事凍結となっています。しかし教員の不足は学生の不利益になるため、一刻もはやい教員補充を、文学部からも大学本部に要望を出しています。

(2)授業について

・「日本史概説」と「世界史概説」の時間をずらして欲しい

→歴史学コースで検討し、この二つの授業の他にも、次年度以降、時間割の重複についての検討をおこないます。

(3)学生ポータルについて

・GPA も掲載してほしい

・ポータルの表示が見づらい

・ポータルの成績表が見づらい、取得単位数（卒業までの必要単位）をわかりやすく提示してほしい

・30 分でログアウトという設定を変えて欲しい

→学生ポータルの GPA 表示やレイアウト改善など、担当部署に要望をしていきます。

(4)英語の成績表発行について（発行を迅速にして欲しい）

→英文成績証明書は、講義科目の英語表記をひとつずつ確認する作業があるため、2 週間の期間をいただいておりますが、できるだけ早く作成を進めます。

(5)シラバスについて（シラバスの更新が遅い）

→シラバス更新は、履修登録に支障が出ないように期間を設定し、授業担当教員へ入力をお願いしていきます。

② 施設・設備に関すること（教室・Wi-Fi・図書館など）

(1)Wi-Fiの接続状況について（文学部関連施設内におけるWi-Fi接続が悪い）

→マルチメディア講義室（人文社会科学系総合研究棟）、大学院棟1階演習室にWi-Fiを設置しました。今後も講義室を優先して拡充の計画を進めています。廊下など建物内部はWi-Fi対応ではなく、また文学部棟の位置が原因で電波が悪くスマホがつながりにくいといった事情があります。これについては対応が困難な状況です。また、リフレッシュルームについての要望も多数ありましたが、こちらへの導入は、現在検討していません。

(2)清掃について

→文学部関連施設における全講義室の窓ガラス、リフレッシュルームの清掃を実施しました。教室の清掃は定期的に行っていますが、引き出しの中などは及ばないことも多く、皆さんにもマナー向上を呼び掛けていきたいと思えます。またリフレッシュルームについては、清掃用の用具の貸出を検討しましたが、コロナ対策（衛生上の消毒）などの徹底が困難であるため、難しいと判断しました。キャンパス美化への皆さんのご協力を期待しています。

(3)トイレについて（洋式トイレの不足、男子の個室の不足、悪臭がする、石鹸が無いなど）

→改修工事はここ数年要望を出してきましたが、ようやく改修の計画が具体化しました。文学部関連の建物では、今年度と来年の2年間をかけて、1号棟2階と3号棟の和式トイレを洋式トイレに変更し、3号棟の1階に新たに多目的トイレを増設することが決まりました。誰でも使えるトイレという趣旨の名称になる予定です。鏡がないというご指摘がありましたが、文学部棟の多目的トイレには鏡は設置してあります。今後、増設するトイレにも設置するようにします。石鹸は感染拡大防止対策のためにも定期的に確認します。清掃については、上記「清掃について」の項を参照してください。

改修工事は順次計画していますが、一気に進みません。ご了解ください。

性別にかかわらず使用できるトイレの名称、設置個所を増やすことについてのご意見は、全学で共有し、さらに文学部でも検討・対応をしていきたいと思えます。

(4)雨天時の構内環境について（水はけが悪い、雨の日の廊下が滑りやすい）

→全学的に問題があると思われ、文学部単独で対応できないので、本部（施設課）などにしっかり伝え、検討をお願いしていきます。

③学生生活に関すること（学生支援・課外活動・就職活動・留学など）

(1)全員留学について

・この制度の見直し、廃止を求める。留学制度を理由に上がった授業料を一部でも返還してほしい。

→皆さんの声を、本部に伝えます。

・本年度留学プログラム募集が停止したことの影響が不安である。計画についての情報提供や説明会開催を行って欲しい。

→関係する部局、担当に確認して、今後の説明／連絡がどのような状況・段階で、行われるのかを確認して、文学部としても皆さんにお伝えします。

(2)サークル活動について（各団体によってメディア利用に差が生じている）

→大学としては Microsoft teams を利用した新歓の実施を提案し、多くのサークルで実施されましたが、以後の活動の方法については、それぞれの団体で討議し運営していただきたいと思います。段階的活動が許可されてきましたので、サークルで決めている感染予防対策を確認して参加してください。

(3)施設（けやき会館や学生会館など）の利用について（利用に制限がある）

→文学部だけで対応ができない事柄なので、本部に意見を伝えます。

(4)学生支援課などの対応について（質問できない雰囲気である、職員の方が足りていないのではないか等）

→皆さんのご意見を受け止め、関係の部局で共有し伝えます。

・就職支援のサポートが不十分ではないか

→文学部の卒業生の進路先情報は更新します。また、文学部としての対応も検討しますが、就職支援課のサイト (<http://www.chiba-u.jp/careercenter/>) には、さまざまな支援の方法が提供していますので、どんどん活用してください。

(5)学生に対する呼称について（教員による学生の呼称—「～くん」(男性)、「～さん」(女性)という男女別をやめてほしい)

→文学部教員でおこなう FD 研修などで、問題提起を受け止め、意識改革と対応に努めたいと思います。

(6)試験の時に学生証を忘れてしまった時の対応を、書類形式にしてほしい。

→文学部の授業に関しては、担当教員が柔軟な対応をしてきました。それで問題があるようでしたら、また学生委員会にご連絡ください。

④2020 新型コロナウイルス対応に関すること（メディア授業など）

（1）授業について

- ・各授業のそれぞれの課題の量が多すぎてこなすだけになってしまう
 - ・授業の量や質に差がありすぎる（授業時間を大幅に超える動画の授業や逆に短すぎる授業、解説なしにただ既存の教材を読ませてまとめさせるだけの授業、などがある）
 - ・授業をアップする時間が大幅に遅れる先生がいるので、遅れないようにしてほしい
 - ・Moodle 以外に先生によってさまざまなアプリを使っていて対応が大変。
- このような多数の意見があったことを教授会で紹介しました。いただいた意見を教員間で共有し、授業の改善に努めることを促します。

（2）メディア授業のシステムについて

- ・視聴期間や課題の締め切りが表示されるように設定してほしい
 - ・Moodle が重すぎるので、改善してほしい
- 課題に関しては、学生が課題の個別ページに移動することで課題の提出期限を確認できます。また、ダッシュボードの「直近イベント」欄に締め切り日が表示されます。授業動画の視聴期間に関しては、担当教員が動画の概要欄や、コーストップなどに記入しない限り、学生には周知できない仕様です。
- また Moodle 環境改善のため、7月下旬にサーバーの増強を行いました。

（3）授業料やカリキュラムについて

- ・現状の授業内容と大学の活用の仕方での授業料（施設整備費を含む）を下げないのは納得できない
- メディア授業でも授業の質を担保して、卒業に必要な単位が取れるような授業を行うには、経費が必要です。そのため授業料の減額は行わないのですが、経済的支援策を実施しています。
- 授業の内容については、他からも多くの意見があったことを教授会で紹介しました。いただいた意見を教員間で共有し、授業の改善に努めることを促します。

（4）全体の連絡のあり方について

- ・次のタームの授業形態や予定などを早めに知らせるようにしてほしい
 - ・コロナ再流行が起きたときの対処の指針を事前に示してほしい
- 第4ターム以降の授業については、7月31日付の学長メッセージでお知らせがありました。

た。コロナの状況が日々変わっており、方針についても直前まで固まらないということもあり得ますので、現時点では途中経過をお知らせすることは難しい状況です。

(5) 図書館について

・図書館コンソーシアムがほしい。

→千葉大学附属図書館は図書館相互利用の協定を、同じ千葉市内のアジア経済研究所図書館と結んでおり、本学学生は同館に登録して図書の貸出を受けることができます。

図書館相互利用協定や図書館利用のコンソーシアムは、地域や分野を単位に相互利用の考え方に基つき利用実数も考慮しながら結ばれます。横浜市内大学図書館コンソーシアムのように学術・教育交流のための母体や協定が先にあって結ばれることもよくあります。本学附属図書館もこれらの前提条件が満たせるものであれば前向きに検討していきたいですが、コンソーシアムや相互利用協定といっても図書の貸出までを含むものとは限りません。国立大学の図書館であればすでに本学の学生証があれば閲覧利用が可能であり、公私立大学の図書館でも多くは本学附属図書館の発行する紹介状があれば閲覧利用が可能です。

・図書館の本を郵送で借りられるようにしてほしい

→郵送貸出について、図書館の臨時閉館中のサービスとして検討をしましたが、事前申込制の窓口サービスを続けながら郵送による貸出を実施するための人手を確保することが出勤者削減の状況下で困難だったこと、制度的に実施するためには費用が多額に及ぶこと、利用者からの要望が直接附属図書館に寄せられることがなかったことのため、本格的なサービスとしては実施に至りませんでした。しかし、個別の相談には応じており、そのことを附属図書館ウェブサイトにも記載しました (6/17-)。

https://www.ll.chiba-u.jp/topics/2019/topics_20200316_limitation.html#rent

・無期限貸し出しにしてほしい

→春の長期貸出の期限 (4月10日) を一律に5月20日まで延長していましたが、以降は3週間ごとにオンライン等で返却期限のつど更新していただくことにしました(5/8-)。これは、5月7日にメディア授業が開始され、授業に必要な図書の貸出希望が増えることが見込まれる中、図書の利用機会の公平性を保つため、貸出中の図書に予約をかければ返却期限に返却を受け、予約者が利用できるようにする趣旨です。この特例により、少なくとも入構制限が緩和される時期まで、貸出延長することが可能になります。今回の特例の終了日は現時点では未定です。決まりましたら図書館HP上にて改めてお知らせします。

(6) その他

・海外に住んでいる学生向けの支援を整えてほしい

→渡日できない留学生、留学中の学生さんなど、不安に思うことがありましたら、先生や事

務へ遠慮なく相談をしてください。相談の内容によって、学生支援課や留学生課などにも支援を求めることができます。

⑤その他

- ・(新型コロナの影響で調査・実験も進まないため) 卒論提出日を遅らせて欲しい。
→提出日の変更自体は、文学部の規定として設定されており、変更は難しいです。しかし調査・実験などに十分に時間をかけられない状況を鑑みた上で、各教員は卒論指導を行っていきたいと思います。